

2022

知的資産経営報告書

わが社には「未来をひらく人がいる」
人的資産 組織資産 がある
100年企業を目指して！

SINCE 1977

ISHI

姫路儿ウスサービス株式会社

Himeji House Service Corporation



プレハブの建築請負、レンタルリースサービスを行っています
(我が社の商品運搬には、運行管理者・整備管理者の管理下にて日常業務を安全に行っています)

【表紙への想い 光り輝く「若芽」】

わが社には45年培われてきた土壌がある樹木がある。その土壌・樹木の上にそれぞれ「持ち味」輝く「未来をひらく人がいる」。ひかり輝く「若芽」といってもただ年齢の若い「働き甲斐をもった若い世代の力」だけのことを行っているのではなく、「生命力あふれる熟練した世代の力」も育ってきていることを強調し、あわせて「若芽」と言っているのである。

ゆえに、人的資産あり！組織資産あり！と叫びたいのである。100年企業を目指して！！

《 目次 》

1. 沿革	4
2. 社長の挨拶	5
3. 経営理念	6
4. 自主・自立・自創	7
5. わが社が「知的資産経営報告書」を継続して取組む理由	8
6. 知的資産経営報告書の歩み	9
7. SDGs宣言	10
8. SDGs宣言 (目標1・5・9)	11、12
9. ワークライフバランス企業表彰	13
10. 健康経営優良法人認定	14
11. わが社の地球温暖化対策	15
12. わが社の持続可能な物語	16、17
13. 価値の源泉から未来へ	18
14. 快適空間の提供と創る人財	19
15. 事業概要 (建築、リフォーム、リース、新棟・中古)	20~23
16. 安全衛生活動	24
17. 最優秀安全スローガン (歴代含む)	25
18. 人的資産	26
19. 組織資産	27
20. 組織表	28
21. 将来構想・経営戦略	29
22. 企業概要	30

1. 沿革

期	年	月	トピックス
1期	1977年(昭和52年)	12月	兵庫県姫路市中地635-4 資本金 500万円にて法人設立
3期	1979年(昭和54年)	11月	兵庫県姫路市安田2-82に移転
8期	1984年(昭和59年)	12月	兵庫県朝来郡(現、朝来市)和田山町枚田字五木に但馬出張所開設
9期	1985年(昭和60年)	12月	資本金 1,000万円に増額
10期	1986年(昭和61年)	6月	兵庫県姫路市南条字堂の西138-5に事務所新築に伴い移転
13期	1989年(平成 元年)	12月	兵庫県養父郡養父町(現、養父市)上野に但馬営業所新築、並びに但馬センター開設
14期	1991年(平成 3年)	6月	兵庫県姫路市南条1丁目133番地に地番変更
15期	1992年(平成 4年)	2月	資本金 2,000万円に増額
18期	1995年(平成 7年)	1月	阪神淡路大震災の復興支援に伴い神戸出張所開設
19期	1996年(平成 8年)	3月	神戸出張所を兵庫県神戸市西区に移転
20期	1997年(平成 9年)	4月	復興支援機能を本社事務所に統括し、神戸出張所を閉鎖
28期	2005年(平成17年)	5月	自社オリジナルブランドプレハブの販売を開始する
30期	2007年(平成19年)	9月	公式ホームページを開設
33期	2010年(平成22年)	10月	ユニットハウスの買取事業を開始
36期	2012年(平成24年)	6月	従業員持株会制度を発足する
38期	2015年(平成27年)	5月	自社オーダーハウス【リーガルシリーズ】を開発・販売開始
	”	8月	自社オリジナルユニットハウス【HS-57】をレンタル部門に新規導入する
	”	9月	新商品リーガルシリーズのモデルとして本社事務所を改装する
40期	2017年(平成29年)	2月	NHK“クローズアップ現代”の取材及び放映 【知的資産経営を通して、事業承継が成功した企業として紹介・放映されました】
41期	2018年(平成30年)	4月	兵庫県朝来市和田山町寺谷に「和田山展示場」を開設して展示販売を始める
”	”	6月	加古川センター移転(旧姫路センター:志方町から加古川市平荘町に移転)
42期	”	11月	ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言
42期	2019年(令和元年)	9月	ひょうご仕事と生活の調和推進企業へ認定
43期	2019年(令和元年)	11月	創業者 中島弘堂氏から西田俊一が二代目代表取締役社長に就任
43期	2020年(令和2年)	4月	加古川展示場開設(旧姫路センター跡地)
”	”	11月	ひょうご仕事と生活のバランス企業・表彰
44期	2021年(令和3年)	5月	BCP(事業継続計画)対策の一環として、リレーションシステム稼働
”	”	9月	但馬センター整備事業 第1期完了(備品倉庫建替え、パネル倉庫増築)
45期	2022年(令和4年)	1月	姫路市SDGs宣言(目標1・3・4・5・8・9・11・12、8項目)
”	”	3月	ユニットハウス1棟販売毎に500円を公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付を開始する
”	”	3月	健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)認定
”	”	4月	養父市J-VERを通じSDGs宣言(目標7・13・15・17、4項目)
”	”	4月	但馬センター整備事業 第2期完了(内装倉庫建替え)
”	”	5月	養父市J-VERで温室効果ガスの一部をオフセット始める

2. 社長の挨拶

1977年に創業して以来、プレハブ建築やユニットハウスの販売やレンタルなどを通してお客様のご要望にお応え出来る企業として「あらゆる快適空間」の提供を続けています。

それは、わが社独自の「持ち味」であり「強み」でもある

- * 短い工期
- * 低コスト・高品質
- * お客様目線での親切丁寧な徹底したサービスの提供
- * 長年にわたる経験と地域 No. 1 の施工実績
- * 信頼できる専門技術とアフターサービスと安心感等々

こうした誠実な経営を通して、お客様と地域社会から信頼される企業創りを心掛けてきました。

これからも「全社員が笑顔で明るく元気な企業」を合言葉に、お客様の使い易さや心地良さを追求しながら「笑顔」と「任せて安心」をお客様にお届け出来るように成長して参ります。

企業100年・100年企業

気の遠くなるような年月ですが、こうした将来ビジョンを明確に打ち出す事によって、100年企業の達成も夢ではない！

全社員が健康的で、明るく自分自身の働き甲斐や生き甲斐を感じ取れる環境創り・会社創りをこれからも維持・継続しつつ、今後も陸続として入社して来る社員一人ひとりが時代に沿った生き生きと幸せな会社創りが出来るように、その礎・土台創りを今ある皆さんと一歩ずつ、勝ち取っていきたくて考えております。



代表取締役 西田 俊一

3. 経営理念

お客様第一主義

「私たちは、いつもお客様の心を大切にし、
お客様の笑顔を最大の喜びとします。」
私たちの会社はお客様に奉仕するために生まれてきました。
お客様の立場に立って、より良く、より安く、より早く、
良品質のサービスをお届けします。

社会貢献

「私たちは、生かされている社会において、
企業活動を通し社会的、経済的に貢献をします。」
社会のお役に立てる喜びが私たちの喜びであり、
その継続が私たちの繁栄の追求である。

自己実現

「私たちは、仕事を通し自己を磨き、より豊かで、
より幸せな人生を築きあげよう。」
職場は人間修業の場である。仕事に対しては、
つねに謙虚に学び、限らない可能性を信じ、より良い自己を創り、
夢の実現へチャレンジしていこう。

社 訓

・謙 虚

あらゆるものに、感謝の心を持つ。
(生かされている自然、人間関係、お客様、取引先)
【お早う ありがとう すみません ご苦労様】と人間らしい心の泉を大切に
謙虚さを失った時に、人は運命を変える。

・誠 実

自分自身に誠実に、より善なるものを求め続けること。
嘘をつくな、社会に対し、堂々と生き、恥じることの無い人間になり、
素晴らしい人間関係の中に、心の豊かさが生まれる。

・努 力

一步一步 出来ないことをできるようにしていく
価値は、自分で創り出していくもの
より良い価値を求めてチャレンジする生き方をしよう。

4. 自主・自立・自創

<自主>

社員は「これをしたい」というやりがいを創り、会社はそれを応援する！

<自立>

任すから任すに足りる人に！

<自創>

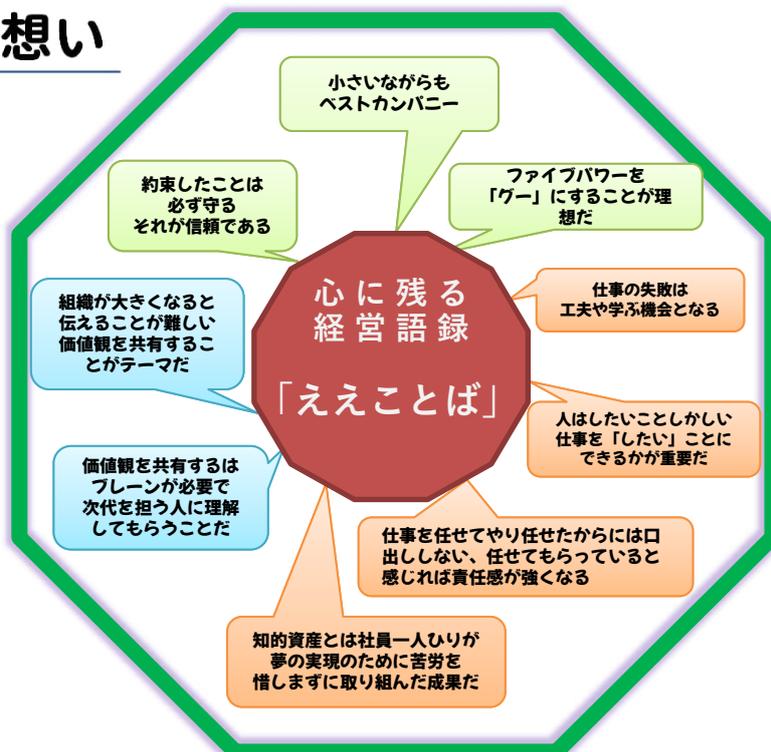
自分で考え工夫する社員を目指して！

≪ 教訓 ≫

～農夫の一日～

ある農夫が、朝早く起きて畑を耕そうとした。
ところがトラクターの燃料が切れていたため近くまで買いに行ってきた。
途中でブタの餌をやっていないことを思い出して納屋に餌を取りに行った。
すると、ジャガイモが発芽しているのを発見した。
これはいけないと思い、ジャガイモの芽をとっているうちに
暖炉の薪が無くなっていることを思い出して薪小屋へ足を運んだ。
薪を持って母屋へ向かっていると、ニワトリの様子が変である。
どうも病気にかかったらしい。
とりあえず応急処置を施して、薪を持って母屋にたどり着いた頃、日がトップリ暮れていた。
農夫はヤレヤレ何かとせわしい一日であったと思いながら、
一番大切な畑を耕すことができなかつたことに気がついたのは床に入ってからであった。

創業から伝え続ける想い



5. わが社が「知的資産経営報告書」を継続して取組む理由

わが社が2009年より「知的資産経営報告書」の作成を始めてから13年の年月が過ぎようとしています。わが社が何故、報告書を継続して更新・作成している理由やそのプロセスの中で、わかってきた事・変わってきた事などを、ご紹介させていただきます。

一つに【報告書を作成する過程において経営側と社員側の信頼関係が深まったこと】
取組み前は、トップダウン型の経営だったが報告書の作成を進める中で、お互いの意見交換が活発になり、意識の共有やコミュニケーションが自然と出来てきて相互理解と信頼関係が深まったことが、成果として挙げられ今日まで継続していること。

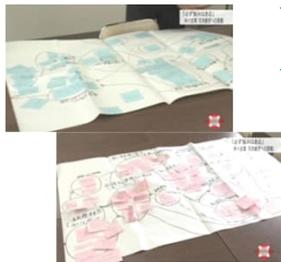
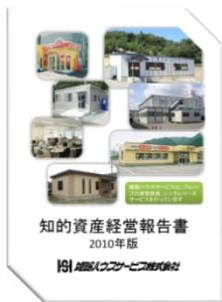
二つに【各事業所間の社員同士の意識の共有と結束力が以前にも増したこと】
作成する中で「わが社の知的資産＝価値の源泉」を見付け出し“ファイブパワー”という言葉で「見える化」に成功したことにより、社員同士にも一体感が生まれ組織力のアップに繋がっている。社員は自身の存在証明を再認識し自己実現を目指す一方、会社もこうした社員の自主、自立、自創を重んじて働きがいを見つけられる会社創りを明確に打ち出した結果、着実に計画以上の業績向上へと繋がってきている。

三つに【作成していく中で“事業承継”の道を見付け出せることが出来た】
作成する中で、わが社独自の多くの知的資産を見付け出して、それを「見える化」に成功したことで、この会社の財産である知的資産をきちんと承継して「次の世代へと引き継がなければ」との想いと“ここで終わらせたら駄目”だという厚い想いが自然に事業承継への決意に変わっていきました。こういった実状からも知的資産の承継が事業承継の道へと繋がったと言っても過言ではないと思っています。

最後に【わが社は現在45期ありますが「100年企業」を目指しています】
その目的の為に「知的資産経営報告書」の継続・取組みを通して、一つはお客様に信頼され必要とされて「任せて安心」が提供出来る存在(会社)で有り続ける事。
一つは全社員の結集力で今後共、姫路ハウスサービスの再発掘・再発見をしながら会社方針にもある“ベストカンパニー創り”(小さいながらも良い会社・社員の皆様が良いと思える企業創り)に一步步近づける為の道標、即ち“羅針盤”となる「知的資産経営報告書」を継続して取り組んで参ります。

代表取締役 西田 俊一

6. 知的資産経営報告書の歩み



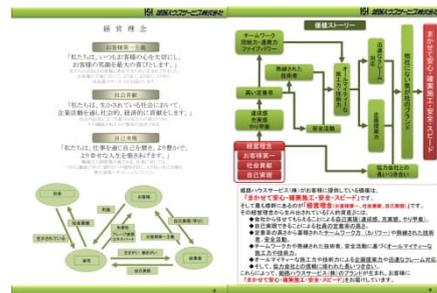
- ◆ 2010年度版・初版(2010年10月)
 - ・社内向けのマネジメントツールとして全社員の協力で「わが社の強み・弱み」をポスト・イットにて収集。進めていく中で、団結力・連携力・迅速力・施工力・責任感と言う5つの「力」に辿り着き「ファイブパワー」という価値の源泉が生まれる。
- ◆ 2011年度版(2011年9月)
- ◆ 2013年度版(2013年9月)
 - ・リニューアル版を作成



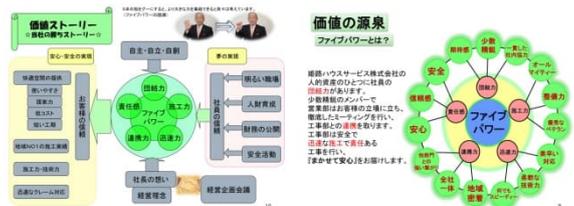
- ◆ 2014年度 BCP版(2014年8月)
 - ・支援金融機関と合同研修にて作成。



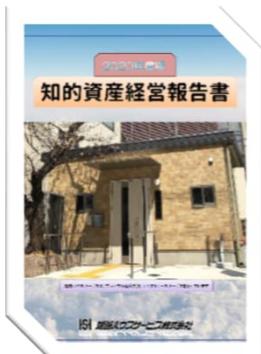
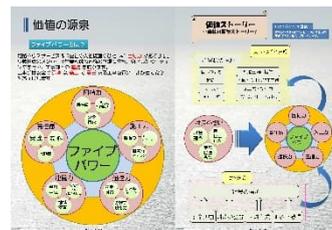
- ◆ 2015年度版(2015年7月)
 - ・リニューアル版を作成。



- ◆ 2016年度版(2016年9月)
 - ・社外向けのコミュニケーションツールとして更にブラッシュアップ。



- ◆ 2019年度版(2019年7月)
 - ・加古川センターの移転もあり、HS-57を表紙にして更にブラッシュアップ。



- ◆ 2020年度版(2020年7月)
 - ・リニューアル版を作成。

8. SDGs宣言 目標1 貧困をなくそう

姫路ハウサービス株式会社

SDGs取組みのきっかけ

2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標「SDGs」。この世界が抱えている課題を「自分ごと化」し、わが社はどのような形で世界に貢献するのかを検証した。

わが社の事業内容

わが社は、プレハブ・ユニットハウスのレンタル及び販売を事業としています。普段から高いメンテナンス技術によりハウス・資材のリデュース（排出抑制）、リユース（再利用）、完全整備のうえリサイクル（再生利用）し、資源廃棄の最小限化に努めています。

わが社の取り組みの一例



「SDGs 1 貧困をなくそう」貧困の撲滅の一環として、世界中の子供、若者、女性たちの「命を守り、夢と希望」お届けする支援に取り組んでいきます。

「誰も置き去りにしない」との理念の上に立って、「人々が今いるこの世界で生きていくのが楽しい」といえる社会を創っていくことに貢献していきます。

わが社の具体的な取り組み

ユニットハウスを販売毎に、1棟あたり500円が、公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付されます。



販売実績一覧

令和4年度	221棟
令和5年度	棟
令和6年度	棟

SDGs宣言 目標5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダーフリーの一環として、女性の力を信じ、女性の活躍の場を与えると共に、労働環境の整備にも取り組んでいる。女性対応の検診に取り組んでいる。

総務女性社員の意見要望を吸い上げ、会社はそれを実現させてあげる（社風）手書き業務が中心なので、これをデジタル化したい、という要望。

- 42期 Office365・One Driveを利用したクラウド配信をした。
工事予定表をスマートフォンで閲覧できるようにした。
販売大臣をクラウド化し、各々拠点を繋ぎ、総務の業務管理を統一化した。
- 43期 総務部より手配依頼書・リース台帳・指令書をデジタル化の要望があがり
総務全体ミーティングを実施した。
- 44期 既存プログラム（見積入力・商品マスター、得意先マスター）と受注入力と
リース台帳をクラウド連動させた。
この業務クラウドをリレーションシステムと名付ける。
- 45期 役職マスター・在庫済台帳をクラウド化、既存システム改造・受注入力・手配依頼書・受注売上入力票・
リース台帳をクラウド化。これにより見積り→
受注入力→手配依頼書→受注売上入力→リース台帳
へとスムーズに流れ、それぞれの業務がクラウド上
で繋がった。これにさらに工事予定表との連動に向けて計画進行中です。



SDGs宣言 目標9 産業と技術革新の基礎をつくろう



産業と技術革新の基礎づくりの一環として、リレーションクラウドシステムの構築や誰でも使いこなせるよう業務改善や働き方改革に取り組んでいる。

今後ポストコロナの状況を踏まえると、3密を避けながら自宅や外出先からでも各部門の業務ができるようにし、デジタル技術による生活やビジネスの変革を成し遂げる。かつ、誰でも使いこなせるようにし、女性や高齢者や中途採用者等多様な人財を確保する為に必要なクラウドシステムを進化させる。
「デジタル化（DX）推進とダイバーシティ経営の実現」

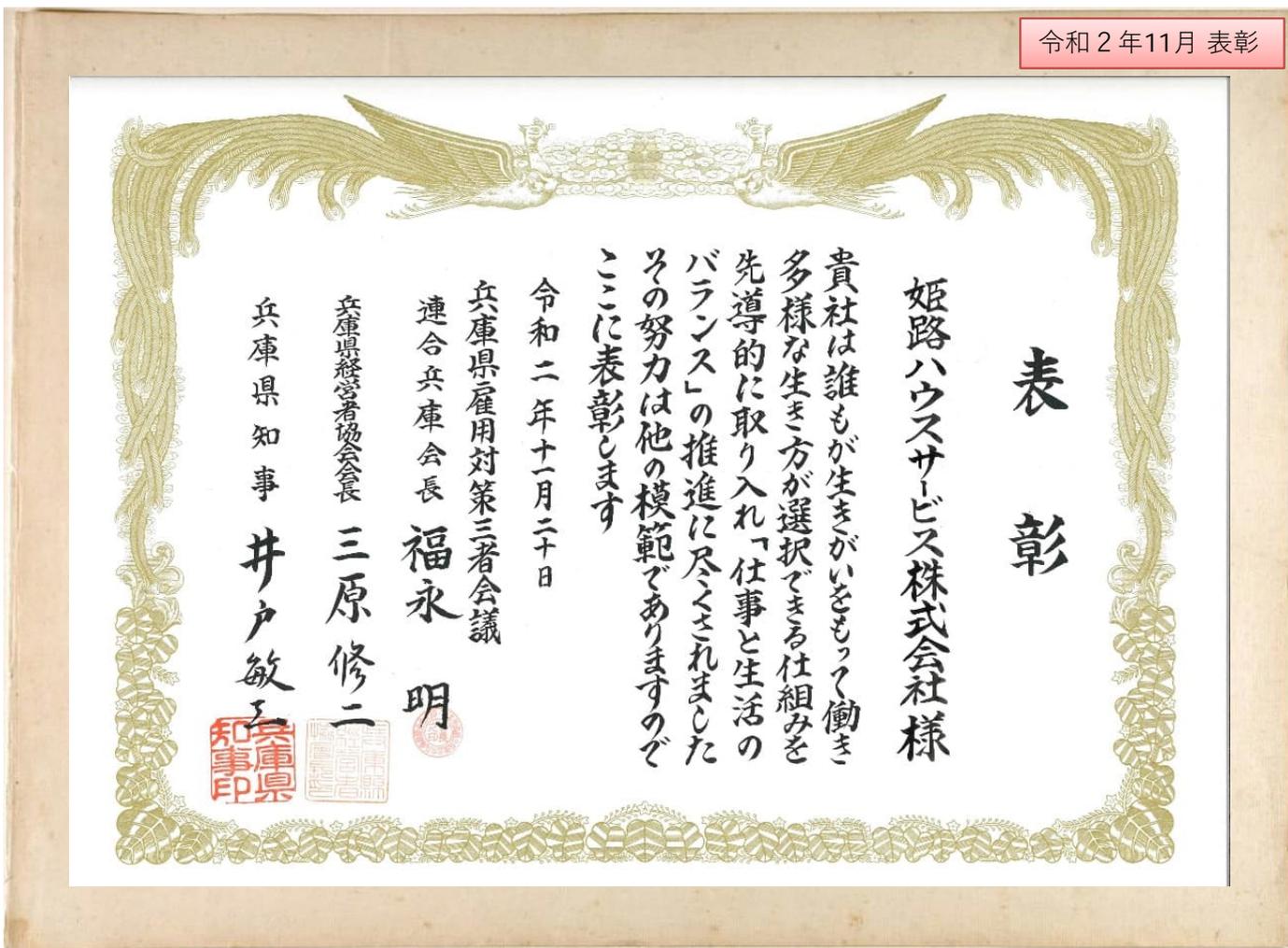
労働環境の整備

業務の効率化により、休暇が取りやすく、残業時間も減り、働き方改革につながり誰が休んでも業務を遂行できるようになっていくので、生産性がさらに向上していくでしょう。

女性対応の検診を45期に実施します。

9. ワークライフバランス企業表彰

令和2年11月 表彰



就職活動中のあなたへ

ワーク・ライフ・バランス

WLBな会社ガイド

兵庫版

Work Life Balance

CONTENTS

- ワークライフバランス(WLB)とは 2
- WLBな会社の特徴 3
- 令和2年度表彰企業
- ▶明石プラスチック工業株式会社 4
- ▶アンサー株式会社 6
- ▶株式会社エルザグライス(エルザ動物病院グループ) 8
- ▶株式会社大智製造所 10
- ▶株式会社神野社 12
- ▶株式会社佐藤屋 14
- ▶株式会社さくらグループエス 16
- ▶サグが組研株式会社 18
- ▶シアンアンドジイ株式会社 20
- ▶神鋼不動産株式会社 22
- ▶姫路ハウスサービス株式会社 24
- ▶株式会社光一 26
- ▶明石精工株式会社 28
- ▶株式会社MORESCO 30
- ▶株式会社フタバ 32
- わたしの就業体験記 34
- 表彰企業一覧 36

姫路ハウスサービス株式会社

一人一人の目標を応援
個人の成長で会社も成長

姫路ハウスサービスでは、社員全員に事業発展の一翼を担ってもらいたいという思いから人材育成に注力。一人一人の目標を応援する仕組みづくり、権限者による評価制度を通じて個人の成長を促し、それが会社の成長にもつながっています。

取組のポイント

- ★一人一人の目標を会社が応援
- ★複数者評価で人材を育成
- ★有給休暇に期間単位制を導入

3か月ごとに確認しフィードバック

プレハブ建物の施工・販売を手掛ける同社のワークライフバランス(WLB)の取組の経緯は、2019年に行われた定期的な就業体験報告会から始まりました。就業体験報告会とは、目に見える数字では表されない会社の資産を振り返り、まとめたもの、部長らが0歳を認めたこときっかけに、「事業発展を見据え、社員全員で会社の成長を推進し、実現したい」という思いで存在に取り組みが深まりました。報告会では目標力、施工力、送達力、連携力、責任感という、会社が求めている5つの力を言葉にして表現しています。そして、社員全体で強みを共

有し、誇りを持って会社をさらに発展、発展させていくと、人づくりの取組をスタートさせたのです。まずは、自分が会社でやりたいこと、個人でしたいことを、社員それぞれが目標として掲げ、それを会社が応援する仕組みがとてつくりました。事業が順調に全員の目標を定め、3か月ごとに上司と面談、進捗度を確かめ合いながら、足りない所についてはフォローアップを受け付けます。目標達成には、多方向から定期的なフォローアップを行います。例えば、「目標の第一责任人になりたい」という目標を掲げた20代の社員に対しては、現場で必要となるさまざまな資格取得をサポートし、その取得費用も

働きがいと経済成長実現の一環として、ワークライフバランスに取り組むと共に、経営計画を明確化し、人と物の投資をしつつ経営革新に取り組んでいる。



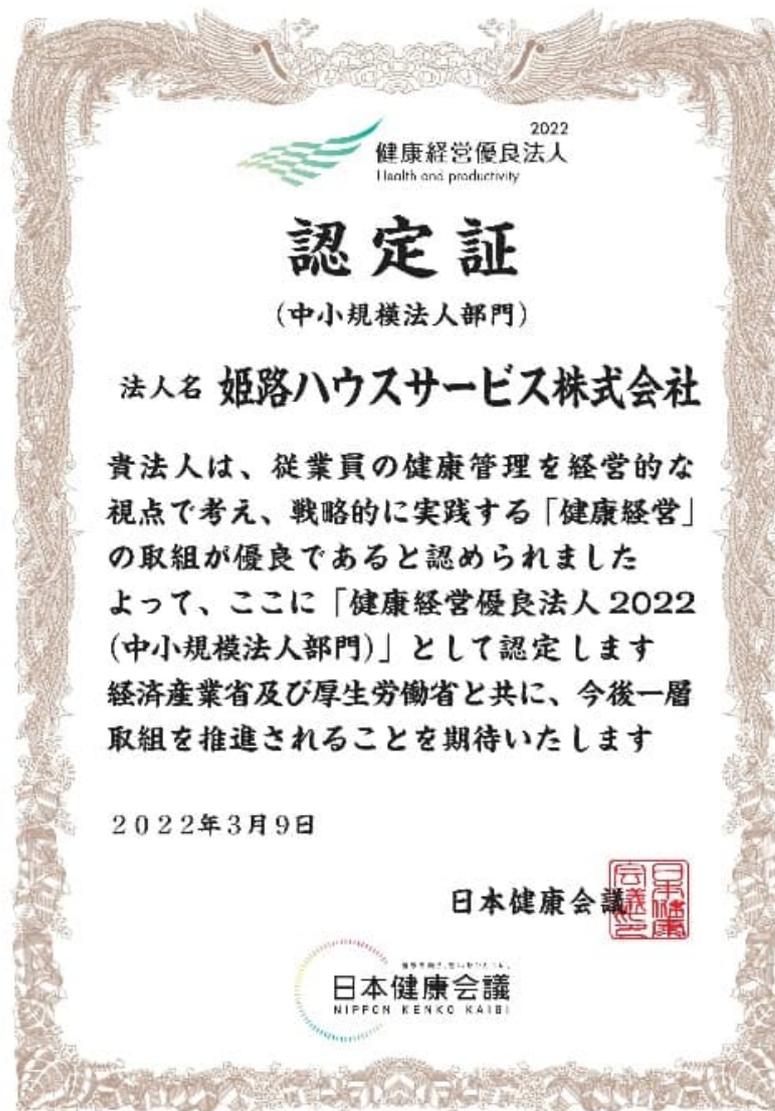
○社員が自分で考えて仕事ができるよう全社員のやりたい事を年次経営計画に反映

- ★社員のレベルアップのため複数人による評価制度で、みんなに激励のフィードバックを行い、未来を担う社員を育成
- ★年次経営計画作成の継続作成を通じて、みんなで自社の「強み」のブラッシュアップと浸透を図る

10. 健康経営優良法人認定



健康と福祉の一環として、健康診断や検診後要再検査者の再受診運動を推奨し、会社負担とするなど、「健康経営」への取り組みや過重労働の予防に取り組んでいる。



課題のテーマ	生活習慣病の疾病の高リスク者に対する重症化予防	
課題の内容	定期健康診断後、要医療・継続医療・要精検の判定があつたにもかかわらず、再受診していない人が多い。	
数値目標の内容と期限	どのような数値目標か	再検査・精密検査の受診率の向上
	現状値	目標値
	20%	100%
	達成年度	2021年度
推進計画	2020年度は再受診率は20%だった為、2021年度は再々の受診勧奨をする。再受診した人に対し、再受診日を公休扱いとし、再受診初回時の受診結果報告と領収書を受領後、受診代金を会社負担とする。	
取り組み結果	健診結果で再検査必要な対象者20人に個別に再受診勧奨文書を手渡した。内11人はすぐに受診に行かなかつたので、経営企画会メンバーと総務部全員に再受診の重要性を訴え会社あげて個別に再度声掛けを行った。	
効果検証結果	2021年度の再検査・精密検査の受診率は100%を達成した。	

11. わが社の地球温暖化対策

運輸安全を推進するうえで取り組む 地球温暖化削減の取組み

●「はこぶ」でCO₂削減

行動メニュー	取組み
エコドライブの推進	「エコドライブ10のすすめ」の実施 エコドライブに関する社内教育
アイドリング・ストップの推進	アイドリング・ストップの実施
整備点検の徹底	タイヤ空気圧など適正な点検整備によるCO ₂ 削減の徹底

●「車庫・ヤード・事務所」でCO₂削減

行動メニュー	取組み
車庫等での節電	車庫・倉庫・事務所等でのこまめな節電 施設の照明をLED化
	適正温度での冷暖房、フィルターの清掃 クールビズ・ウォームビズの実施
グリーン調達の推進	紙の使用量の削減

●「みんな」で環境対策

行動メニュー	取組み
廃棄物の削減	事務所ゴミ・プラスチックゴミの削減 ゴミ分別の徹底 ゴミのポイ捨て禁止・清掃活動の実施 フロン類の適正管理
資源リサイクルの推進	資材のくり返し利用の推進
環境教育の推進	従業員への環境教育実施



エネルギー有効活用の一環として、LED照明に切り替え、ハイブリッド車を導入するなど、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止に取り組んでいる。



気候変動対策の一環として、自社の建築・レンタル等事業活動に伴い排出する温室効果ガスの一部を養父市J-VERでオフセットし環境保護に取り組んでいる。



陸の豊かさを守る一環として、養父市J-VERを通じてふるさと兵庫の森と水と空気を守り、豊かな自然環境の維持向上に貢献することに取り組んでいる。



パートナーシップで目標達成するために、養父市などステークホルダーと連携して、養父市J-VERを通じて持続可能な社会の実現を目指している。

養父市市有林オフセット・クレジット (J-VER) プロジェクト協力企業

認証書

姫路ハウスサービス株式会社様

養父市が発行するオフセット・クレジット (J-VER) を通じ、森林づくり、環境貢献活動に協力している企業であることを認証します。

オフセット量 **20 t-CO₂**

令和 4 年 5 月 31 日

養父市長 広瀬 栄

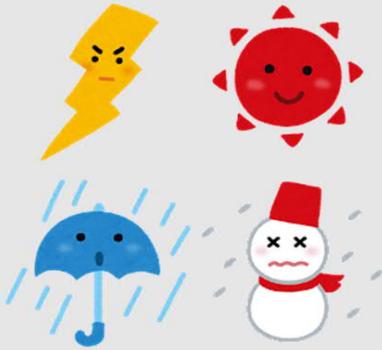
【 オフセット・クレジット (J-VER) 制度 】

J-VER制度は、事業所などが排出する温室効果ガスのうち、どうしても削減できない分を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ (オフセット) する。

各事業所が購入したクレジットの代金を間伐促進といった森林整備に充て、持続可能な森づくりに役立てる。

12. わが社の持続可能な物語

外部環境



経済状況
災害、老朽化
競合他社
仕入資材高騰

売上高

利益

財務
向上

お客様に選ばれ続け

職場環境
創り

夢

生き
甲斐

お客様への対応、必要性が

資格
取得
支援

会社の強みが発揮でき

団結
力

内装
部材の
リサイ
クル

若手
社員の
成長

設備
投資

持ち味
(知的資産)

社員のモチ

100年企業

Sustainable Stories

知名度UP

る

働きやすさ

働き甲斐

激励のフィードバック

が上がる

有難う (エキス)

健康経営

WLB

SDGs

地球温暖化対策

未来への成長

コミュニケーション
心あたたかい関係

相談は
問題解決

連絡は
思いやり

報告は
義務

社員の成長
設備投資
人材の確保
福利厚生充実

きる

福利
厚生の
充実

信頼
性

経験
豊富な
社員

自社
保有
ハウス

中古
ハウス

スピー
ディー
な対応

社長の思い

経営
理念

自主
自立
自創

経営
企画
会議

バージョン

13. 価値の源泉から未来へ

「知的資産経営」「ワークライフバランス経営」

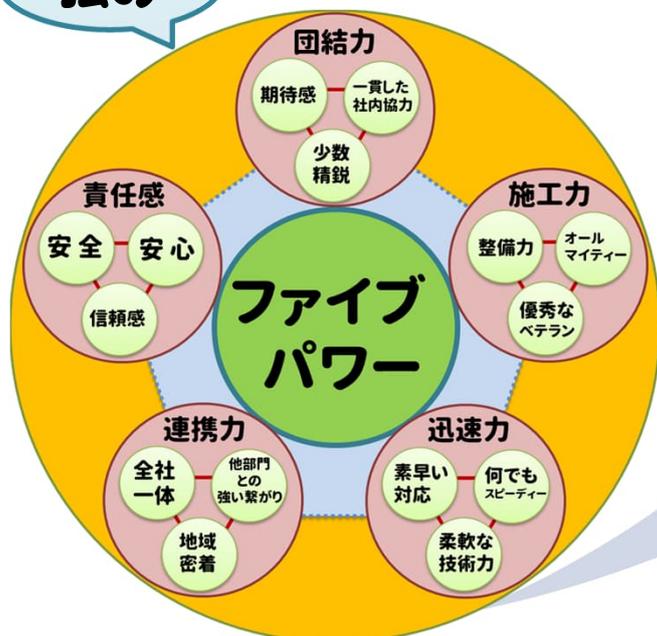
「健康経営」「SDGs経営」

みんなが「つくっていききたい未来」を実現する

働 き や す さ
健康・福祉取組み力

働き甲斐をもった
若い世代の力

強み



見える化
伝える化

会社の魅力づくり

みんなで創る

注)ファイブパワーについては、Pg-9の「知的資産経営報告書の歩み」の2010年度版項目を参照してください。

14. 快適空間の提供と創る人財

～短い工期と低コスト「どこでもハウス」の実現～



快 適 空 間 の 提 供	工期	組立・解体・運搬までの自社一貫体制
		ファイブパワーを集結して安全作業にて工期短縮を図る
	施工	お客様の過去の施工データの蓄積
		自社開発の内装部品
		リサイクル資材の活用で低コストを実現
	製品	エアコン・OA機器・テレビ・冷蔵庫まであらゆるニーズに応える
		ブラインド・タイルカーペット・間仕切・庇・軒・窓・トイレ・キッチン増設・移動。設置後の変更にも柔軟な対応が可能
	サービス	現場近隣の住民への配慮も欠かさない
		使う人の意見・要望を取り入れ心地よさを考えたレイアウトの提案

15. 事業概要 (建築)

事務所・店舗・工場・倉庫など、お客様のプランに応じていける様内外装・大きさ等、幅広いバリエーションを用意しております。従来工法にはないスピーディーな施工を得意としています。



住み続けられるまちづくりの一環として、社会貢献活動への取組みや災害時に仮設ハウスを提供できるよう地域社会への参画に取り組んでいる。



15. 事業概要 (リフォーム)

老朽化した事務所や倉庫等のプレハブをローコストで新築同等に仕上げる事を目指しております。
通常の業務になるべく差し支えることなく、スムーズな工事を行うことも我が社のリフォーム工事の特徴です。



住み続けられるまちづくりの一環として、社会貢献活動への取組みや災害時に仮設ハウスを提供できるよう地域社会への参画に取り組んでいる。



15. 事業概要（新棟・中古・リノベーション）

中古ハウスという市場の拡大に伴い、必要がなくなったハウスを買取り、完全整備の上、販売(リユース)しております。また、新棟ユニットハウスにも色々な仕様商品も揃えております。展示場も開設しており、お客様のニーズにお応えしています。是非、お立ち寄り下さい！



1 貧困をなくそう
貧困撲滅の一環として、売上金の一部を世界中の子供、若者、女性たちの「命を守り、夢と希望」をお届けする支援に取り組んでいきます。



12 つくる責任 つかう責任
つくる責任、つかう責任の一環として、間仕切りパネルの導入により資材の排出抑制、タイルカーペット等の整備後の再利用、中古ハウスを完全整備のうえ再生利用。

加古川展示場



和田山展示場



<安全実施8項目>

- ①安全衛生大会の実施(毎年7月)
- ②営業・工務部・総務一体となった報・連・相・打の徹底
- ③あいさつ・かけ声活動の徹底
- ④5S運動の徹底 (整理・整頓・清掃・清潔・躰)
- ⑤転落・転倒・指挟まれ・積荷の落下・建設機械等の災害防止
- ⑥リスクアセスメントを取り入れたKY活動の徹底(毎日夕方・現場毎)
- ⑦交通事故災害ゼロを！！ (通勤中・業務中)
- ⑧自己健康管理の徹底

<KY活動(危険予知活動)>

- 営業部と工務部が連携して、リスクアセスメントを取り入れたKY活動を計画する
- 現場ではゼネコンの監督にも参加してもらい、他社の現場作業員も含め全員で KY活動を実施する
- KYは現場ごとに作り上げていくもの現場ごとにリスクを想定、その時・その場の危険を事前に検討し、リスク対応する仕組み
- お客様の信頼、社員の安全、家族の安心を考えた『愛』あふれる取り組み

<安全運転管理活動>

- 月間「努力目標」を掲げ、実行する
- ヒヤリ・ハット情報等の共有と活用
- アルコール検知器を用いた飲酒運転の撲滅
- 各車、計画的な定期点検の実施

【安全運転宣言】

『私は常に交通法規を尊重し

思いやりの心をもって

安全運転に努めます』

17. 最優秀安全スローガン (歴代含む)

第15回 令和4年度 年間安全標語 最優秀賞

【 危ないぞ 気軽に言える職場創り

無事故の一步はあなたから 】

加吉川センター 竹中 大武

第14回 令和3年度(2021)

1位 ヒトコトで 未然に防げるそのヒヤリ 心にいつも思ひやり

第13回 令和2年度(2020)

1位 人に頼るな 任せるな！ 安全は「他人事」ではなく「自分事！」

第12回 令和元年度(2019)

1位 早くやるより 安全に うまくやるより 確実に 目指すゴールは 無災害

第11回 平成30年度(2018)

1位 「危ない」と、いえる勇気で防ぐ事故 安全作業に上下なし。

第10回 平成29年度(2017)

1位 危険な作業を見かけたら 「ヒトゴト」ではなく一言を！

第 9回 平成28年度(2016)

1位 みんなで決めたルールと手順 守るあなたが守られる

第 8回 平成27年度(2015)

1位 気を抜くな、 毎日変わる危険箇所 初心忘れずゼロ災害

第 7回 平成26年度(2014)

1位 身につけよう基本動作とプロ意識 みんなで目指そう ゼロ災害

第 6回 平成25年度(2013)

1位 創ろう安心 無くそう心配 いつも心に“ゼロ災害”

第 5回 平成24年度(2012)

1位 一人ひとりが職場の人材 みんなで築こう 社内安全

第 4回 平成23年度(2011)

1位 みんなで誓う安全は 我社の誇り ファイブパワー！

第 3回 平成22年度(2010)

1位 変わる時代に 変わらぬ基本 磨いた技術で “災害ゼロ”

第 2回 平成21年度(2009)

1位 危険予知 絶えず続けて 絶える事故

第 1回 平成20年度(2008)

1位 頼るな経験 おごるな自信 その心が事故のもと

18. 人的資産

わが社は、多種多様な資格、免許、および技能を取得しています。
また、経験年数も長く、安定したサービスを提供いたします。



質の高い教育の一環として、資格制度を設け、
受けたい講座や資格の後押しをし、会社負担
としている。研修や教育制度の充実、生涯
学習の推進に取り組んでいる。

資格・免許・技能講習者一覧	人数
一級建設業経理士	1
二級建設業経理士	2
二級建築士	4
一級建築施工管理技士補	1
二級建築施工管理技士	2
宅地建物取引士	3
大型自動車	12
フォークリフト運転技能	8
フォークリフト(1t未満)運転業務特別教育	1
小型移動式クレーン運転技能講習	15
運行管理者	4
整備管理者	2
安全運転管理者	2
玉掛	24
車両系建設機械(整地)	2
ガス溶接技能講習	3
アーク溶接等の業務特別教育	1
足場組立等作業主任者	1
足場の組立等特別教育	11
高所作業車技能	3
木造建築物の組立て等作業主任者技能	1
労務管理士(認定講習)	1
第一種衛生管理者	1
職長教育(安全衛生特別教育)	25
第二種電気工事士	3
石綿使用建築物等解体等業務特別教育	1
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	7
建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能	1
有機溶剤業務従事者労働衛生教育	1

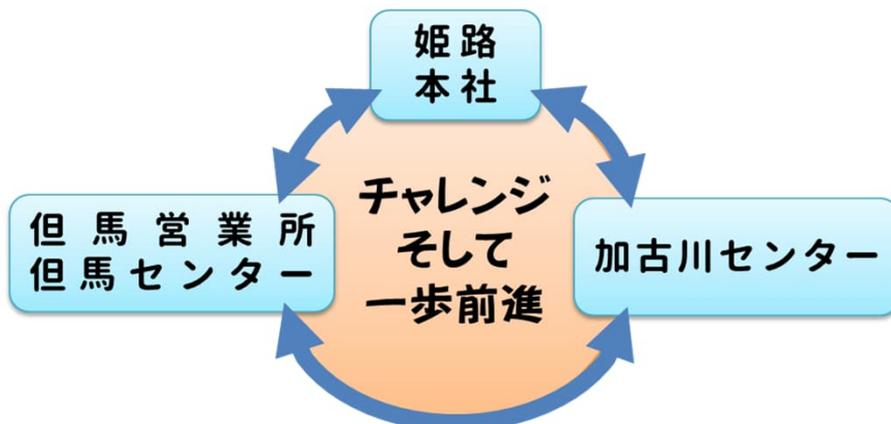
平均在職年数
13.5年

社員平均年齢
44.1歳

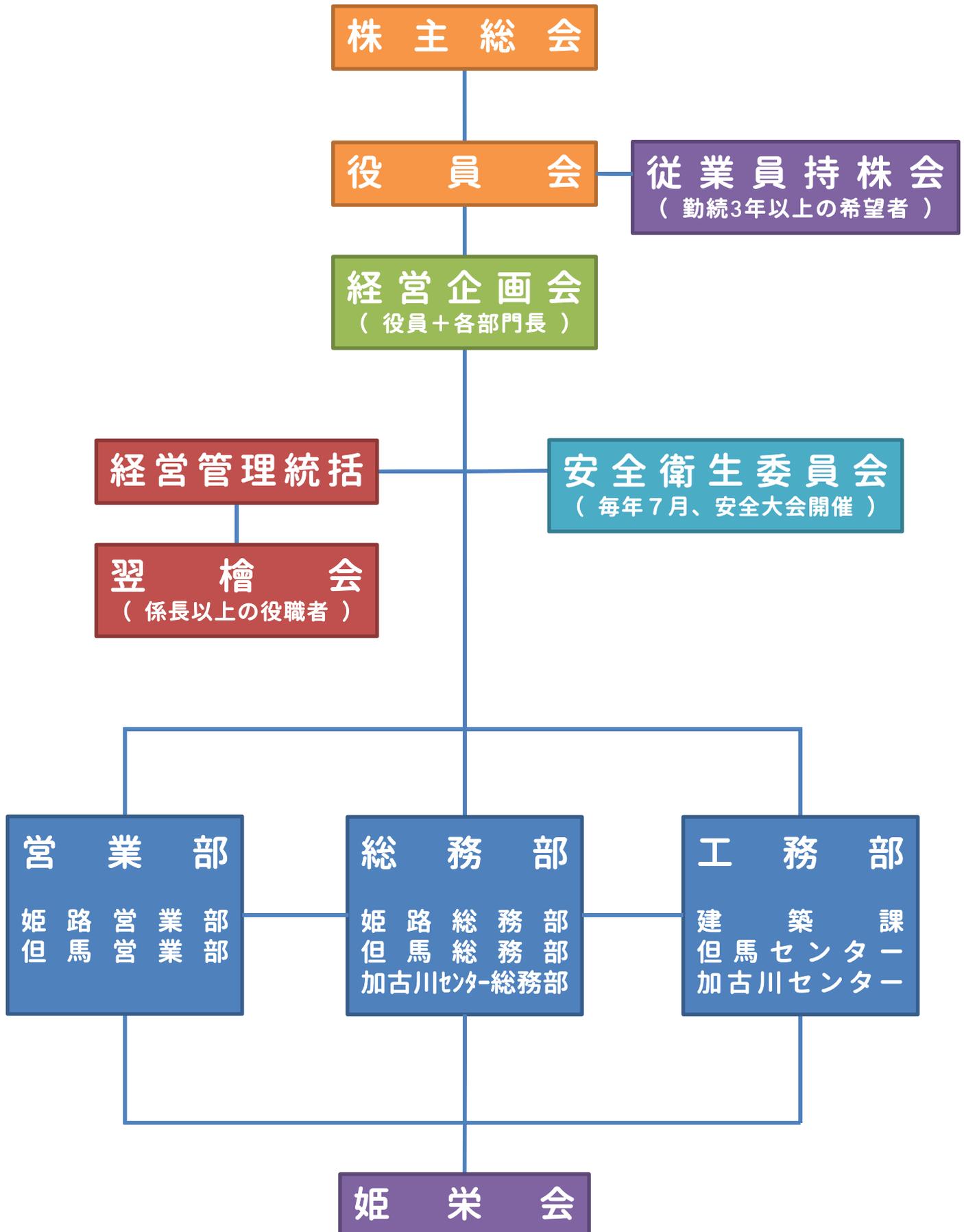
在職年数	人
20年以上	14
15年～19年	2
10年～14年	2
5年～9年	8
4年以下	11
計	37

19. 組織資産

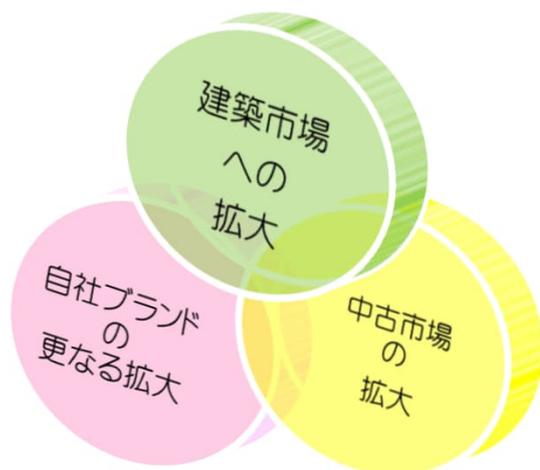
本社(姫路市)では兵庫県南部を、但馬営業所(養父市)では兵庫県北部を営業エリアとしています。加古川センター、但馬センターではデリバリー(配送と施工)を行っており、スムーズなデリバリーが構築されています。また、両センターではユニットハウスや備品のメンテナンスを行い、常に快適な環境の提供に努めています。姫路ハウスサービス株式会社では、地域密着を基本にお客様第一主義を合言葉に社員のファイブパワーを結集しています。



20. 組織表



21. 将来構想・経営戦略



1. 建築市場（新築・リフォーム市場）への拡大

ゼネコンからの受注はもとより、企業や工場への進出および一般のお客様などに幅広くアピールして、マーケットの拡大を図っていきます。

そのために、商品アイテムの充実、開発、施工体制の強化などに取り組んでまいります。

外観を新築同様にリフレッシュする工法で行う工事もお客様に提案し、ローコストで満足して頂ける改修工事のマーケットの拡大も図ってまいります。

2. 中古市場の拡大

わが社は、レンタルを主な業務としている為、中古市場に直接関わっていませんでした。しかし、お客様から中古ハウスに関わるお問い合わせを数多く頂いているところから、お客様の声にお応えして、お客様に喜んで頂ける商品を品揃えしようと考えました。その一環として、お客様に見て選んで頂けるようにと2018年春に和田山展示場を開設、そしてこの2020年春には加古川展示場を開設しました。近くにお越しの際にはお気軽にお立寄り頂きまして、ぜひ実物のユニットハウスを見て頂きたいと思っております。今後もお客様のニーズにお応え出来るような商品や、多重多様なハウスを取扱いして参ります。

3. 自社ブランドの更なる拡大

自社制作商品の開発を行い、お客様に更なる快適空間を提供することを目標とし、ラインアップを充実してまいります。独自の技術と長年の経験から商品のオリジナリティを活かし、皆様のニーズにお応えできるよう、更なる品質と信頼の向上に繋がる為に邁進致します。

22. 企業概要

会社名	姫路ハウスサービス株式会社
代表者	代表取締役 西田 俊一
設立	1977年(昭和52年)12月15日
所在地	本社 〒670-0952 兵庫県姫路市南条1丁目133番地 TEL(079)-289-2633/FAX(079)-289-2635 但馬営業所 〒667-0131 兵庫県養父市上野1530-1 TEL(079)-664-1990/FAX(079)-664-1992 加古川センター営業所 〒675-1235 兵庫県加古川市平荘町小畑338-1 TEL(079)-441-8933/FAX(079)-441-8936 和田山展示場 〒669-5263 兵庫県朝来市和田山町寺谷字上町864-4 加古川展示場 〒675-0331 兵庫県加古川市志方町西牧1083-1
URL	https://himejihouse.co.jp/
資本金	2,000万円
売上高	987百万円 2021年(令和3年)9月期
従業員数	44名 (本部3名、営業部9名、工務部17名、総務部8名、パート7名)関連会社含む
登録・免許	建築工事業 とび・土工工事業 兵庫県知事 許可(般-2) 第454725号 古物商・道具商 兵庫県公安委員会許可 第631601600001号 一般貨物自動車運送事業 許可 近運自貨第199号
営業品目	1. プレハブ建築の請負・設計・監理、及び販売。 2. 仮設用ハウス・ユニットハウスの販売及び賃貸 3. 仮設用トイレ・備品の販売及び賃貸
取引銀行	・但陽信用金庫 姫路南支店 ・但馬信用金庫 延末支店/広谷支店 ・三井住友銀行 飾磨支店 ・兵庫県信用農業協同組合連合会 姫路支店 ・中国銀行 姫路支店 ・みなと銀行 姫路支店
関連会社	株式会社トータルリース

2022年(令和4年)7月 作成
知的資産経営報告書制作実行委員会
(翌檜会)

◎知的資産経営報告書について

□ 知的資産経営報告書

* 「知的資産経営」とは

従来のバランスシートに掲載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である。人材、技術、技能、知的資産（特許・ブランドなど）組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総評を意味します。

* 「知的資産経営報告書」とは

目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成しております。

本書ご利用上の注意

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画並びに、付帯する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて記載しております。そのため、将来に亘り当社を取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じる事もあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に記載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するモノではないことを、十分にご了承願います。



(談 : 西田)

“ 己己之終わらせたる駄目 ”
